

プログラミング 発想や表現競う

最優秀賞に石川君

「もっと好きになる わたしたちのまち」をテーマに製作したアプリなどを競う県小学生プログラミング大会（河北新報社、東北工大など主催）が22日、仙台市太白区の東北工大八木山キャンパスであった。最優秀賞に仙台の中田小4年石川颯亮君（10）、優秀賞に聖

道ミニコ学院小6年山根志道君（11）が選ばれた。応募した小学生28人のうち、10月の一次審査を通過した12人が作品を発表。仙台市教委プログラミング教育研究部会の安藤明伸アドバイザーら5人が、発想や表現力などを評価した。

石川君は「牛タン拾いまくれ!!」をタイトルにしたゲームを手掛けた。来年3月、東京で開かれる全国選抜小学生プログラミング大会に出場する。「地元の名物を生かした作品にしたかった。全国大会では焦らず発表したい」と話した。他の入賞者は次の通り。

（敬称略）

▽優良賞 名角久志（大和町吉岡小6年）▽特別賞 大寄実彩（仙台市片平丁小3年）
田みなみ（同吉成小2年） 佐々木琉羽（同太白小5年）



最優秀賞の表彰を受ける石川君